令和2年6月19日

二宮町教育委員会議録

(定例会・臨時会)

二宮町教育委員会

- 1 開会時間 9時30分
- 2 閉会時間 11時40分
- 3 教育長名 森 英夫
- 4 署名委員 岡野 敏彦
- 5 教育長及び委員

出欠席	職名	氏名
○	教育長	森 英夫
○	教育委員 教育長職務代理者	山内 みどり
○	教育委員	岡野 敏彦
○	教育委員	渡辺 優子
○	教育委員	野谷 悦

- 6 出席者氏名
教育部長	黒石 徳子
教育総務課長	下條 博史
生涯学習課長	小笠原 純二
教育総務課長代理	田中 明夫
教育総務課指導班長	境野 朋美
教育総務課教育総務班長	岩崎 稔史
教育総務課教育総務班主任主事	渡邊 一充
- 7 傍聴者 なし
- 8 調整者 教育総務課教育総務班主任主事 渡邊 一充

1 開会宣言

(教育長) 令和2年度6月定例教育委員会議を開催します。

2 署名委員の氏名

岡野委員を指名する。

3 教育長事務報告

(教育長) 教育長事務報告を資料に基づいて行う。

(教育部長) 6月政策会議報告を資料に基づいて行う

(各課長) 各課の事務報告・事業予定について資料に基づいて説明する。

- (岡野委員) 学校を始め、児童生徒及び保護者等の協力があり、学校が再開できたことは本当に良かったと思います。校長先生方が学校行事について相談されているようですが、我々も4月の当初からチームワークの形成に関わることを一番懸念していました。人が集まらないとできないことは、なかなか挽回することは難しいと思います。そのようなことをこれから重点的に取り組んでいただければと思います。
- (野谷委員) 学校再開に向け、学校と教育委員会の連携ありがとうございました。引き続き連携体制の維持をよろしく願います。現場の方から、掃除、消毒などで人手が足りておらず、特に手すりやトイレ等の消毒に、学校の先生方だけでは手が回らないとの声があります。予算の措置が十分になされていないところもあるので、業者選定方法も含め、前向きな検討をお願いします。もう一点は、タブレット端末の配布についてです。これからの状況によっては再度休校になることも考えられるので、せめて朝の会だけでもオンライン授業が出来るように準備を進めていく必要があると思うのですが、進捗状況はどうでしょうか。
- (教育総務課長) 人手に関しては、国の第2次補正が通ったことにより、教員の加配や学習指導員、スクールサポートスタッフが増員されました。中地区管内では、スクールサポートスタッフまで増員できたのは二宮町のみで、それにより各校に3人程増えますので、人手に関して少しでもサポートが出来ればと思っています。消毒に関しても、次亜塩素酸ナトリウムの拭き取りから、少しずつアルコール噴射に切り替えるよう進めているところです。スプレーボトルや非接触体温計は、補正予算の承認を得たので、既に各学級に一つずつ設置したため、少しは手間が解消されていると思います。タブレット関係については、約2.4%の端末を持っていない世帯と、日中使えない世帯を中心に、貸し出しに関するアンケートを取りました。小学校の児童は、タブレット端末の扱いに不慣れだと想定されるため、学校で慎重にルールを決めてから貸し出しを開始する予定ですが、中学校はすでに13台を貸し出しています。第二波への対応としては、現在Googleアカウントのドメイン取得が終わり、320台全ての端末にZoomをインストールしたので、オンラ

イン朝の会の実施可能なインフラになっています。

- （山内委員） 教員の定員数を増やせるチャンスを、逃さないようにお願いします。二宮町育英会は、平成 21 年ごろまで町からの補助金と寄付金で援助をしていました。利用者が少なかったことを理由に、平成 21 年から補助金が打ち切られたため、今は積立金と利子のみで援助しています。二宮は子育てに向いていることが町の売りなので、このまま原資が減少し、この制度がなくなってしまっているものとは思えません。奨学金の目的には、生活困窮者への支援と成績優秀者への支援という様々な面があると思います。もっと「奨学生に選ばれるのは、とても誉れなことだ」という良いイメージを打ち出していけると、個人や企業からの寄付金が得られるのではないかなと思います。
- （教育長） 企業から理解を得るためには、これまでの制度とは別の支援方法を見せる必要があるかもしれません。ただし、従来の方法による支援も必要だと思いますので、原資のあり方を整理するとともに、困窮者や優秀者の方にふさわしい支援方法を検討していく必要があると思います。
- （山内委員） 制度の周知が不足していると思うので、何かの形で周知をお願いします。
- （教育総務課長） 経済的な面だけではない、奨学金に対する意識を変えていかなければならないと思います。

4 付議事項

なし

5 報告・協議事項

(1) 『二宮町新型コロナウイルス感染症に対応した学校再開ガイドライン』及び『学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル～「学校の新しい生活様式」～』について

(教育総務課長) 『二宮町新型コロナウイルス感染症に対応した学校再開ガイドライン』及び『学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル～「学校の新しい生活様式」～』について資料に基づいて説明。

- （教育長） 熱中症に対するマスクの使い方が特に明記されていました。海老名市では、学校で感染者が出た際には、1 週間程度休校にしました。ただし、文部科学省は、休校期間を指定しておらず、また感染者と濃厚接触者が特定できる場合は、該当者を出席停止にし、その他の児童生徒は、学びの保障という観点から通学をさせることが望ましいとの見解を示しています。実際に校内に感染者が出た場合は、2～3 日休校してから再開することになると思います。何かご質問、ご意見ありますか。
- （岡野委員） 現場の様子は学校がよく把握しており、適切に判断していただいていると思います。各学校で状況も違うことから、教育委員会で一律に対応を決めてしまうのは難

しいと考えます。このマニュアルのように色々示されていても、実際のところ、それでもまだ判断に迷ったり、運用上で困ることはあるのでしょうか。

- （教育総務課長） 17日に、教育委員会からレベル1の地域としての通知を各校長にお渡ししました。リスクのある中でも、対策をしっかりとれば工夫次第では授業を行えることが理解いただけましたし、ある程度の予定が立てやすくなったとのこと。ただ、個々の学習活動については悩みが多いと思われるので、教育委員会に相談して下さいとお願いしています。
- （教育総務課長代理） 先生方は非常に気を遣って、学校生活の指導を子どもたちに行っていると感じました。子ども達自身もそれを感じ取り、しっかりと学校生活を送っているそうです。
- （山内委員） 危ないとされている音楽の授業ですが、ドイツでオーケストラと大学で飛沫の飛び方を調べたところ、管楽器も種類によってはあまり飛沫が飛ばないことや、現在、合唱団の為に、歌いやすく飛沫が飛ばないマスクを開発しているところもあるので、新しい情報を収集しながら進めていければと思います。
- （岡野委員） 学校ホームページの運用や動画の配信等、学校が再開すると手薄になってしまうと思いますが、学校と家庭との新たなつながりにもなるため、継続していただくことが大切だと。これまでの授業手法を変えるとか、今まで出来ていなかったことに取り組むという前向きな視点を持っていただければと思います。
- （教育総務課長代理） 現在は反転授業という、家で動画や教科書を読む等の予習をして、学校では学校でしか出来ない活動を実施する授業方法をとっています。
- （教育総務課長） やはり学校が再開して、動画教材があまりアップされなくなりました。中学3年生や小学6年生の動画は上げられていますが、他の学年は止まっている状況です。最初からICTを使って教材を作成し動画として上げたり、板書したものを写真で撮って、授業の振り返りとして載せたり、あまり手間をかけない方法でできることをお願いしています。ただ、再開して2週間が経ち、先生方の疲れもピークに達しているところなので、そこは徐々にやっていきたいなと思います。
- （教育長） 川崎市立川崎小学校の先生に、山西小学校を中心に学校研究をしていただいています。その先生は全員挙手、全員参加の授業を進めている方です。全員が挙手するためには自分が知識を持つ必要があり、自分の考えを相手に伝え、自分の考えを改めたり、進化させたり、アクティブラーニングを町に広めていきたいと思っています。これらの進捗状況も踏まえながら、小中一貫に向け、町の財産である子ども達をどう育ていきたいのか、そのために何が出来るか、信念を持って進めていきたいと思っています。
- （山内委員） 先日学校の先生方とPTAの方、地域の建築会社の方たちが協力され、二宮中学校のベンチの木を張り替えたと聞きました。地域への働きかけは、単なるコミュニケーションという側面だけでなく、協力体制にも繋がるため、声を出していくと良いと思います。消毒の人手等、困っていることを頼むのは必要なことですし、協力してくれる方

もいると思います。

- （教育長） そういった活動は、コミュニティスクールの機能の一つだと思います。活動を推進していくためには、各学校エリアの実情にあった活動を、地域活動推進委員会を中心に取り組んでいただければと思います。また、二宮中学校の件は HP に掲載しています。同様に、日頃の些細なことから様々なことについて Facebook 等で掲載しています。学校や児童生徒の頑張っている姿を地域の方にご覧いただけたらと思います。
- （山内委員） ぜひ校長会等で、先生方に地域の方にサポートを求めるようお伝えしてください。
- （教育総務課長） 一色小学校で消毒隊みたいなものを、コミュニティスクールで組んでいただいています。そういう情報も校長会等で伝えて、他のコミュニティスクールでも生かしてもらえるよう伝えていきたいと思います。

（２）二宮町社会教育施設の利用再開における新型コロナウイルス感染症拡大予防対策について

（生涯学習課長） 二宮町社会教育施設の利用再開における新型コロナウイルス感染症拡大予防対策について資料に基づいて説明。

意見等なし

（３）二宮町図書館再開後の新型コロナウイルス感染症拡大予防対策について

（生涯学習課長） 二宮町図書館再開後の新型コロナウイルス感染症拡大予防対策について資料に基づいて説明。

- （渡辺委員） プールの方は更衣室の制限がありますが、それ以外の変更はありませんか。
- （生涯学習課長） 基本的には今まで通りですが、今年度の水遊び用おむつでの利用は一時中止にさせていただきます。午前中に使用した後、午後に水を抜いて清掃することになると、利用時間が少なくなってしまうため、今回はそのような対応としました。
- （渡辺委員） ありがとうございます。図書館の方で、在庫有りの予約が出来るようになったというのは、今まで制限のあった中ですごくポジティブなことだと思います。これはもうしばらく続けるような形でしょうか。
- （生涯学習課長） インターネットで予約していただければ、カウンターですぐにお渡し出来ますし、滞在時間や本を探す手間も少なくなりますので、引き続き対策をとりながらやっていきたいと考えています。

（４）G I G Aスクールについて

（教育総務班長） G I G Aスクールについて資料に基づいて説明。

- （野谷委員） 先程のオンライン授業の話と重なりますが、小学校低学年の子がタブレットを使うのに、なかなか慣れない部分もあると思います。先生一人では対応しきれないとも思うので、使い方を教えるスタッフが欲しいと実感しました。
- （教育総務課長） 全教室に一人ずつ配置することは厳しいです。地元のパソコン教室を開いている方と、お子さんが慣れるまでの間のサポートが可能かという話し合いをしているところです。
- （野谷委員） 専門的知識がなくてもいいと思います。
- （教育総務課長） 教諭の方は、この休業の中で詳しくなったとのこと。ただ当面の間、子どもの方は難しいと思います。
- （野谷委員） 入っているソフトにもよると思います。
- （教育総務課長） そうですね。
- （渡辺委員） インフラの整備は整えつつあるようですが、それをどのように活用していくかが重要になると思います。また、先生達の意識や活用のガイドラインも必要になってくると思います。5年の保守点検はありますが、端末機器の摩耗やバージョンアップ等により更新の必要性が生じると思います。これから先も一人一台が続いていくような想定でいるのでしょうか。
- （教育総務課長） 保守の中で、途中で1回分の電池交換を予定しているところです。5年間、同じタブレットを使用できるかどうかの不安はあります。また、国からは5年後の更新についての方向性はまだ示されていません。文科省の担当者の考えでは、いずれランドセルと同じ概念になると示唆しているとのことから、今後は各家庭での負担になる可能性があります。今後は、就学援助の対象とするなどの方法を考えていく必要があります。また情報が入り次第お示しします。
- （渡辺委員） 休校期間中では、学校で学び合える大事さも再認識されたところだと思いますので、ICT環境を整え活用しつつ、学校でどう活用していくかがすごく難しいと思いました。
- （教育総務課長代理） 先生方の研修を充実させていく必要があると思います。実物が来る前までに、Googleのchromebookを使っていくという情報を流していきたいと思います。

（5）その他

－ 次回教育委員会予定 －

（教育総務班長） 次回教育委員会議の日程及び出席を要する主な行事について説明。

11時40分 閉会